

1 開会

2 令和4年度上期 苦情の申立てについて

期間中に苦情の申立てがなかったことを報告した。

3 令和4年度上期 工事請負契約状況について

資料に基づき、期間中の「総契約件数」「方式別契約件数」「平均落札率」「随意契約により契約を締結した工事の概要と随意契約の理由」「最低制限価格と入札額との差が近接している工事」等を説明した。

4 令和4年度上期 入札参加資格停止の状況について

資料に基づき、期間中の入札参加資格が停止された業者、理由、停止された場合の効果等を説明した。

【質問】

7番目の死亡事故で、期間の基準が2週間から4カ月ですが、今回の事例で1カ月の理由は？死亡事故だと1カ月なのか？

【回答】

本市では10年ほど前に同様の下水道工事における死亡事故があり、その時も1カ月の入札参加停止措置をしている。

期間の検討に際しては、安全管理の不備がどの程度あったのか、決められた作業手順を守っていないとか、事前に市の監督員から安全管理の不備を指摘されていたのに対策せずに事故が起きたとかの場合は、責任が大きくなる。

また、打撲なのか骨折なのか、亡くなった人がいるのか、死傷者が何名かなどの結果の重大性も期間の検討の際は考慮することになる。

【質問】

基準は何に基づいているのか。期間の長短は誰が決めているのか？

【回答】

国・県の基準に準じて、市の要綱を定めている。要綱で規定している措置期間には幅があるので、内容や過去の事例を踏まえて個別に「指名委員会」で審議し、決定している。

5 令和4年度上期 低入札価格調査結果について

資料に基づき、低入札価格調査を行った結果、確実に履行できるものと判断し契約を締結した旨を説明。

【質問】

低入札価格の場合、事故とかそういったものも懸念されるが、一般的に考えて、そのあたりの相関関係というのは見られるのか？

【回答】

本市の事例では、特に相関関係は見られない。
低入札価格調査制度に該当した場合は、契約条件として技術者の加配など、施工体制の強化を求めている。

6 抽出事案にかかる審議

土屋委員が抽出した事案と、抽出した理由を説明した。

制限付き一般競争入札 番号22

令和3年度 市道0103号線自転車通行空間整備工事

【質問】

最低制限価格に近い入札が多いが、この案件のランダム係数について説明を。

【回答】

ランダム係数は、各事業者の応札時間を数値化（例えばある事業者が 12 時 34 分に応札したとすると、「1234」と数値化）し、その合算からランダム係数の通り数である 101 を除することにより、案件ごとに自動的に決定する。係数は、「1.0000」から「1.0100」の範囲で 0.0001 刻みの 101 通り想定される。

本案件では、数値が 80 であったため、ランダム係数の 1.0080 を最低制限基本価格に掛けたものが最低制限価格となる。

その結果、2 者はランダム係数により変動した最低制限価格によって失格となった。

【質問】

ランダム係数は予測可能なのか？

【回答】

電子入札を行っており、各社の事務所から入札金額をデータ送信した時刻を基に算出するため、各社の応札時間を把握し、ランダム係数を予測することは困難。

制限付き一般競争入札 番号 57

令和 3 年度 狩野川流域下水道関連（沼津市公共下水道）事業（基幹）第 10 処理分区小諏訪地内管渠築造工事

【質問】

低入札価格調査制度の資料で、経費の部分が市の設計金額より大幅に安くなっているが、これはどういうことか。

【回答】

年間通して複数工事を受注している企業などでは、経費を各工事で割り振って負担しているため、1 つの工事に計上する経費は少なくなる。

なお、低入札価格調査において、現場の管理や安全管理に必要な費用、社員給料や法定福利費などの必要な経費が計上されていることを確認している。

制限付き一般競争入札 番号 109

令和4年度 沼津市戸田特定空家等除却工事

【質問】

自社で処分場を保有している業者が有利だが、そのような場合でも入札するのか？

【回答】

そのような業者が応札した場合、価格面で有利と考えられるが、各社の手持ち工事や技術者の配置可否などの要素もあるため、入札してみないとわからない。

【質問】

13者指名して、ほとんどが辞退だが、理由は？

【回答】

戸田地区の工事であり、移動に時間を要することも要因と考えられる。

【質問】

工事概要に所有者不存在と書いてあり、略式代執行の事例はこれから多くなるのかなと思う。

【回答】

本市において、空き家等の対策の推進に関する特別措置法に基づく初めての事例と聞いている。

指名競争入札 番号 112

令和4年度 東駿河湾広域都市計画事業岡宮北土地区画整理事業58街区土留築造工事

【質問】

入札の落札率 100%というのはありえるのか？

【回答】

年によってだが、1～2件程度ある年も。

また、1度目の入札で予定価格に入らなくて、2回目の入札で金額を下げた結果100%で落札するというケースもある。

7 閉会

今後も、確実に入札・契約業務に従事していく。

令和4年度の入札監視委員会第2回定例会議は、令和5年3月に開催する予定である。